



独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発達障害教育情報センター

発達障害のある子どもを支援するための教育情報を発信しています

「地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築に関する実際研究
(平成20年3月)」より

【39】地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築のために

キーワード：教育支援体制、地域づくり、教育・保健・福祉の連携

【この研究では】

- 横須賀市をフィールドにして、横須賀市役所、神奈川県立保健福祉大学と共同研究を行いました。
- 特別支援教育における医療、福祉との連携をテーマとし、地域づくりに関する開発的研究を行いました。

研究の目的は次の3つに集約されます。

- ①横須賀市の事業計画に参画し、横須賀市の教育、保健、福祉の事業に関する検討する。
- ②横須賀市と協働して、市の教育、保健、福祉の具体的な事業に参画し、その中から得た知見を整理する。
- ③横須賀市の教育、医療、福祉の新たな地域の総合的な教育支援体制の構築をめざした取り組みに参画する。

この目的に到達するため様々な情報を整理することにも注力しました。それらの内容も加味して研究結果を以下のような内容で整理し、報告書にまとめました。

第1章 はじめに 小澤至賢

障害のある子どもの教育支援体制に関する基礎理論の整理

第2章 地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築の方向性について 西牧謙吾

国の施策動向と関連する概念の整理

第3章 特別支援教育と子ども家庭福祉の連携の在り方を考える

- I 子どもが育つ環境づくり—子育て支援と行政の取り組み—西牧謙吾
- II 特別支援教育下での児童養護施設の教育的課題 西牧謙吾
- III 「アメリカ合衆国の障害児教育における自己決定（セルフディターミネーション）に関する研究と日本における展開への示唆」 齊藤由美子

他職種連携の実践事例

第4章 特別支援教育における多職種との連携について

- I 特別支援教育における多職種との連携 西牧謙吾
- II 特別支援教育における他職種との連携の実際
 - II-1 連携の実際 理学療法、作業療法の視点から見た学校支援について「Performanceの基礎となる体力づくり～特殊学級において～」小林隆司（吉備国際大学保健科学部）、石川喜久子（福山市立御幸小学校）、竹原まり子（医療法人社団思誠会渡辺病院）
 - II-2 連携の実際 理学療法、作業療法の視点から見た学校支援について「作業療法からみた自立的活動（小中学校編）」笹田 哲（神奈川県立保健福祉大学）

【コラム】「Performanceの基礎となる体力づくり～アスリートにおいて～」上岡 尚代（日本体育協会公認アスレティックトレーナー 理学療法士）

横須賀市の実践事例

第5章 横須賀市を対象とした地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築に関する実際

- I 横須賀市における障害のある子どもの総合的な教育支援体制 小澤至賢
- II 幼稚園・保育所における「気になる子ども」に関する調査研究 久保山茂樹・齊藤由美子・西牧謙吾・當島茂登・藤井茂樹・滝川国芳
- III 横須賀市における移行連携システムの課題に関する調査研究 小澤至賢・後上鐵夫・小林倫代・大柴文枝・大崎博史・伊藤由美・植木田潤・亀野節子

地域づくりの実践事例

第6章 地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築に向けた事例

- I 医療現場における活動理論展開の可能性—子どもが育つ、共同体としての病院— 山口悦子、新宅治夫、山野恒一（大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学）、平井祐範（大阪市立大学医学部運営本部庶務課）、石井正光（大阪市立大学医学部附属病院副院長）
- II 「まちづくり型病院環境作り」の可能性—第3世代活動理論の視点から— 山住 勝広（関西大学人間活動理論研究センター）
- III 障害のある人への一貫した支援システムの形成 —ことばの教室から始まったネットワークと親の会の活動から— 藤井 茂樹

障害のある人への施策と経済原則との運動の課題

記録 シンポジウム「障害者の経済学」中島教授講演記録

第7章 おわりに 西牧謙吾

【研究をして見えてきたこと】

本研究では、地方公共団体と共同して行うため、多岐にわたる内容を取り扱ってきました。

障害のある子どもの教育支援体制に関する基礎理論を整理しました。（第2章）地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築について、方向性を出すためにさまざまな基礎理論を概観し、教育支援体制の構築と「地域づくり」の関連についてまとめました。おさえておかななくてはならない内容を以下の章のようにまとめました。

国の施策動向と関連する概念を整理しました。（第3章）地方自治体の施策は、国の施策動向と関連しているためその内容を概観しました。また、様々な立場の人々が協働して取り組む際、関連する概念を整理する必要があることから、中心的なキーワードとなる内容をまとめました。

他職種連携の実践事例をまとめました。（第4章）地域では、子どもや関係者に近いレベルで様々な専門家が協働しながら取り組む必要があることからその事例をあげました。

横須賀市の実践事例をまとめました。（第5章）実際に横須賀市と協働して取り組んだ活動の一部を研究的にまとめました。

地域づくりの実践事例をまとめました。（第6章）「地域づくり」の実践事例についてまとめました。障害のある子どもへの教育支援体制と各地方自治体が行っている「地域づくり」が密接に関連していることが明らかになりました。「地域づくり」の基礎理論や実践事例に関して、今後さらに調査をすすめる、次の研究に進んでいくことを計画しています。

障害のある人への施策と経済原則との連動の課題について取り上げました。（シンポジウム記録）行政的な事業の実施には、経済学的な視点が不可欠なことからシンポジウムを企画し、その記録を掲載しました。障害のある人への施策が必ずしも経済原則と連動していない状況が明らかになりました。シンポジウムを受けて、当事者や保護者、支援者の意識改革の方向性を経済学の観点からも考えていくことを今後の研究の方向性の一つとしていきたいと考えています。

本研究を通して、特別支援教育を推進し、障害のある子どもの総合的な教育支援体制を構築する上で、障害のある子どもという切り口だけではなく、どの子どもにも必要な支援方法という機軸の提示、各地方自治体が行っている「地域づくり」との連動がたいへん重要である事が明確となりました。

【研究組織】

横須賀市役所

神奈川県立保健福祉大学

国立特別支援教育総合研究所

【平成16年度】研究代表者：後上鐵夫、西牧謙吾

研究分担者：當島茂登、久保山茂樹、滝坂信一、小林倫代、大柴文枝、伊藤由美、植木田潤、亀野節子

【平成17年度】研究代表者：後上鐵夫、西牧謙吾

研究分担者：當島茂登、久保山茂樹、滝坂信一、小林倫代、大柴文枝、小澤至賢、伊藤由美、植木田潤、亀野節子

【平成18年度】研究代表者：後上鐵夫、西牧謙吾

研究分担者：當島茂登、藤井茂樹、滝川国芳、久保山茂樹、齊藤由美子、小林倫代、大柴文枝、大崎博史、小澤至賢、伊藤由美、植木田潤、亀野節子

【平成19年度】研究代表者：小澤至賢

研究分担者：西牧謙吾、當島茂登、藤井茂樹、滝川国芳、久保山茂樹、齊藤由美子、後上鐵夫、小林倫代、大柴文枝、大崎博史、伊藤由美、植木田潤、亀野節子

【研究課題名】

地域における障害のある子どもの総合的な教育支援体制の構築に関する実際研究（平成16～19年度）

【もっと詳しくお知りになりたい場合は】

こちらの報告書は、研究所webページにて全文掲載されています。

http://www.nise.go.jp/kenshuka/josa/kankobutsu/pub_g/g-6_all.pdf

【本研究紹介シートの文責】

小澤 至賢

本研究紹介シートは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所で行った研究を基に作成しています。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 (National Institute of Special Needs Education; NISE)

〒239-8585 横須賀市野比5-1-1 URL: <http://www.nise.go.jp/>